

いのちの授業 学習指導案

指導者 S & K

1. 本時の指導

(1) 題材 いのちの授業 - NEEDS とは何か？

(2) 目標 「いのち」に関わる選択の難しさ、大事さを感じとれるようにする。
友達との話し合いを通じて、自分の考えをしっかりと持てるようにする。

(3) 指導過程

	学習活動	主な発問(○)と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導入	アイスブレイク。 4人グループをつくる。 本時の流れの説明とプリント配布。	声をださずに、誕生月ごとに集まってください。2分間をお願いします。 ○質問はありませんか。	・グループづくりを兼ねて、活動に入る前に「楽しい雰囲気」をつくる。
展開	個々人で考える。 「捨てるもの」を4つ選ぶ。 班で話し合う。 再び、個々人で考える。	まずは、相談しないで1人で考えてみましょう。5分間考えてください。 ・予想される反応 「水」「食料」「鍋・コンロ」は多くの生徒が必要と判断するだろう。しかし、「薬」は必要性の有無が個人によって違い、意見が分かれるだろう。「毛布」「釣り竿」「発炎筒」「懐中電灯」は、相対的に必要性が薄いと思われるので、「捨てる」選択が多いと思われる。 では、自分の考えを班で発表しあってください。15分間話し合いましょう。 お互い、「なるほど」「ちがう」「疑問」と思ったところについてコメントしながら、話し合ってください。 話し合ったことを元に、もう一度1人で考えてみましょう。5分間をお願いします。	・班ごと机に座る。 ・自分なりの選択とその根拠を示す。なかなか決定できない生徒にはとりあえず1つ選ばせ、その根拠を示してもらい、その後の選択ができるよう支援する。 ・他の生徒の考えを聴くことで、多様な価値観の存在に気づく。その上で、自分なりに納得した考え、似たような考え、反論したい考えを出し合い、話し合う。 ・うまく話し合いが進まない生徒、班には選択の根拠を示してもらい、各自の選択・根拠のちがいに気づかせたい。話し合いの中身、質を大切にしたい。 ・話し合いを通して気づいた事を踏まえ、再び自分なりの選択とその根拠を示す。
まとめ	本時の活動を振り返る。 教師の体験を話し、焦点をしぼる。	ここまで活動してみて、選ぶときに大切だと思うことと、その理由を10分間でまとめましょう。 教師の経験談(教師を目指したきっかけ。様々な人との語らいが自分の志望を意味あるものにしてくれたこと)で、焦点を絞りたい。	・本時の活動を通して、活動で気づいた事をまとめてもらう。 ・可能なら、何人かに振り返りコメントを発表してもらい、クラス全体で共有する。 ・「選択=自分で決めること、自分で決める=他人の話を受容し、視点を広げること」ということに気づいてもらいたい。